

開催概要

- ✓ 日本学術会議では、アジアの国・地域を中心に学術研究分野での連携・協力を図る 国際的なプラットフォームとして、平成12年にアジア学術会議(SCA: Science Council of Asia)を創設。以降、加盟するアカデミーが持ち回りで毎年年次会合 を開催し、日本学術会議が恒常的な事務局機能を担っている。
- ✓ 令和7年11月16日から18日の間、パキスタン科学アカデミー(Pakistan Academy of Sciences)の主催により、第24回アジア学術会議年次会合がパ キスタン・イスラマバードで開催。「食料安全保障、持続可能性、生物多様性」をテー マに、20か国・地域より約150名が参加。
- ✓ 日本学術会議からは、「令和7年度アジア学術会議に関する国際会議等への代表者 の派遣の基本方針(令和7年2月27日第381回幹事会決定)」に基づき、以下の会 員・連携会員が対面およびオンラインで登壇。



日本学術会議から参加した会員等(6名)

髙山 弘太郎 第二部会員

(豊橋技術科学大学大学院工学研究所教授/愛媛大学大学院農学研究科教授)

光石 衛 第三部会員·日本学術会議会長

(独立行政法人大学改革支援・学位授与機構理事/東京大学名誉教授)

春日 文子 連携会員

(長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授/Future Earth国際事務局日 本ハブ事務局長)

標葉 隆馬 連携会員

(慶応義塾大学大学院メディアデザイン研究科准教授)

佐紀子 連携会員

(国立研究開発法人国際農林水産業研究センター情報広報室プロジェクトリーダー)

松山 亮太 連携会員(特任)*オンライン参加

(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門任期付研究員)



24th SCAC



Science Council of Asia Conference

Food Security, Sustainability, and Biodiversity

November 16-18, 2025 -

About the Event

The Conference aims to bring together international experts, policymakers, academicians, business leaders, and practitioners to discuss innovative strategies, share knowledge, and forge partnerships for a sustainable foster stirring dialogue, drive innovation, and shape policies that promote a resilient and sustainable future for



he integration of digital tools and biotechnology in sustainable food systems, as well as the advancement of bio-health agriculture for

Event Themes

Exploring the interconnected concepts of food,





Pakistan Academy of Sciences (PAS) Science Council of Asia (SCA)

年次会合の模様(1) - 日本学術会議代表派遣者。-



光石衛 会長 Inaugural Ceremony



髙山弘太郎 会員 Plenary Lecture V



白鳥佐紀子 連携会員 Scientific Session IV



標葉隆馬 連携会員·松山亮太 連携会員 Young Researchers' Session



春日文子 連携会員 Future Earth Symposium



髙山弘太郎 会員 Concluding Session

年次会合の模様(2) - 日本学術会議海外招へい者*-



Andrea PIERONI氏 Plenary Lecture II



Sagarika EKANAYAKE氏 Scientific Session V



Liaquat ALI氏
Scientific Session III



You-Cai Xiong氏(オンライン) **Plenary Lecture II**



Looi Lai MENG氏 **Plenary Lecture IV**



Arnab CHAUDHARY氏 Neni SINTAWARDANI氏 **Future Earth Symposium**



理事会および総会の開催

✓ パキスタン年次会合中に開催された理事会(Management Board Meeting)および総会(General Assembly)では、主に下記の点について審議が行われ、第24回アジア学術会議大会宣言が採択された。

●年次会合の主催組織の承認

- ✓ 下記の理事アカデミー(Management Board Members)より 希望が上がり、理事会および総会で了承された。
- ①第27回アジア学術会議 年次会合【令和10年開催予定】 モンゴル科学アカデミー

(Mongolian Academy of Sciences: MAS)

②第28回アジア学術会議 年次会合【令和11年開催予定】 スリランカ科学アカデミー

(National Academy of Sciences of Sri Lanka: NASSL)

●次回年次会合のコンセプトノート案の承認

✓ 次回、第25回アジア学術会議 年次会合を主催するカンボジア工科 大学(Institute of Technology of Cambodia)よりコンセ プトノート案が示され、下記開催概要について了承された。

■ 日 時: 令和8年11月18日~20日■ 場 所: カンボジア・シェムリアップ

■ テーマ: 強靭な未来のための持続可能な技術とDX(仮訳)

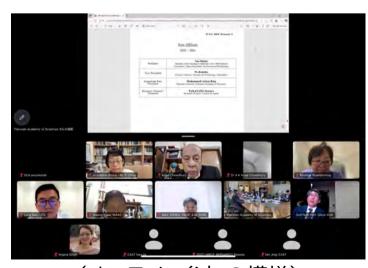
●次期役員の承認

✓ 2025 - 2026の新役員として下記の者が承認され、日本学術会議からは、高山弘太郎第二部会員が、澁澤栄連携会員の後任としてアジア学術会議事務局長に就任した。

President	Xue Qikun Member, China Association for Science and Technology (CAST)
Vice President	Po Kimtho Director General, Institute of Technology Cambodia (ITC)
Past President	Muhammad Aslam Baig Secretary General, Pakistan Academy of Sciences (PAS)
Secretary General / Treasurer	TAKAYAMA Kotaro Member, Science Council of Japan (SCJ)



(理事会で発言する髙山会員)



(オンライン参加の模様)